



付加価値という創造

令和7年10月22日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業はその付加価値を創造し、その現実を可能とする。高い付加価値の創造は優れた製品とサービス、技術と利便性の向上、機能性において、その価値の拡大を生産できるものである。

これらは資本という企業への対価であり、生産性の向上は、その価値の拡大を生むものである。

これらは市場における需要の創造を付加価値とともに提案できることであり、視点の飛躍は、付加価値の向上を実現できるものである。

これらは企業の自己プレゼンスの構築であり、グローバル経済においてのその市場の需要においてそれら判断は否定できないものである。

高い付加価値の創造は、企業の開発研究環境において、その高い視点と基準における自社サービスや製品の確立において実現できるものである。

これらは企業の創造性とともに、それら新たな製品とサービスの確立を求めることは、独創性における市場の牽引を可能とできるものである。

これらは制限性や既存価値観から、全く新しい現実を求めることは可能である。それらは考察と考査を経て、製品やサービスの飛躍を実現できるのである。

これらは基準点をはるかに向上させ、既存現実から新しい未来の実現を求めることができるのである。

生産環境や流通などの向上は、その高い生産性や効率性を合理的企業経営において実現することは、その実用性における企業環境の向上を求められるものである。

これらは企業経営における視点や基準を新たに求め、企業が未来における可能性の現実化を実現できるのである。